

科目分類	専門職の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	担当セメスター	区分	単位数	授業時間数
11084	1	前期	必修	1	30
授業科目名 (英文)	クリティカルシンキング I (Critical Thinking I)				
担当教員名	○末永由理 / 駒崎俊剛 / 川口嘉奈子 / 久保田さゆり				
授業の概要及び到達目標					
<p>本科目では、優れた臨床判断を行う基盤として、考える力の修得を目指す。このため、基礎的な文章読解力・思考力・論理的表現力に関する講義と演習を行う。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 与えられた文章から、必要な情報を正確に読み取り、表現できる。 提示されたテーマに対する自分の主張を論理的に説明できる。 事実と意見の区分や立論、批判、反論の違いを説明できる。 					
準備学習等					
<p>講義はテキストの内容を踏まえて行うので、事前に読んで内容を理解しておく（60分程度）。テキストにない内容についても扱うため、配布する資料やプリントも読んで内容を理解しておくこと。授業日ごとに毎回課題提出があるので、その日の課題を理解して確実に提出すること。</p> <p>* 第9回以降の事前学習と事後学習は、次のように行う。</p> <p>事前学習：ビデオ視聴やテキストの熟読、課題をウェブに掲載する。（60分程度）</p> <p>事後学習：事前学習、講義を通して理解したことを整理してウェブで提出する。（60分程度）</p> <p>第9回：「伝達、伝聞、推量の違い」について理解する。</p> <p>第10回：「様々なバイアス」について理解する。</p> <p>第11回：「接続関係」について理解する。</p> <p>第12回：「演繹と推測、仮説形成、価値評価」について理解する。</p> <p>第13回：「演繹、否定、条件構造、推論」について理解する。</p> <p>第14回：「異論と批判」について理解する。</p> <p>第15回：「根拠の確かめ方」について理解する。</p>					
成績評価の方法	<p>評価は第2～8回、および9～15回のそれぞれについて行い、60%に満たない場合は該当する部分の再試験を実施する。</p> <p><第2～8回></p> <p>講義への取り組み（40%）＋提出課題（60%）の50点満点で評価する。</p> <p>講義への取り組みは、講義内での課題の提出と完成度、質問、参加姿勢によって評価する。提出課題は授業内で課す課題の点数で評価する。試験は課さない。</p> <p><第9～15回></p> <p>各回の事前学習20%、事後学習20%、定期試験60%</p> <p>最終試験は、知識確認の試験と小論文（800文字程度）を課す。</p>				

テキスト	「非論理的な人のための 論理的な文章の書き方入門」(飯間浩明：ディスカヴァー・トゥエンティワン, 2008年) 「はじめよう, ロジカル・ライティング」(戸田山和久：ひつじ書房, 2014年) 「新版 論理トレーニング」(野矢茂樹：産業図書, 2006年) 「教養としての認知科学」(鈴木宏明：東京大学出版会, 2016年)
参考図書	「論理的に読む技術 文章の中身を理解する“読解力”強化の必須スキル！」(福澤一吉：ソフトバンククリエイティブ, 2012年)※ その他の参考図書も講義の中で紹介する。
備考	第1回授業で試験を実施し, その結果によってクラス分けを行います。第2回～第8回の授業は指定されたクラスで受講して下さい。授業で提示する課題については, 次の授業時に補足や解説等を行います。卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については, 別途明示している各学科の履修系統図をご確認ください。本科目はクリティカルシンキングⅡをはじめ, 様々な看護専門科目の基盤となります。質問等は, 授業時間内および授業終了後に受け付けます。看護学科教員のオフィスアワーについては看護学科「オフィスアワー」の項をご参照ください。
授 業 計 画	
第1回	オリエンテーション, 論理的表現力に関する試験/講義・演習 (末永)
第2回	第2～8回の講義のイントロダクションと文章の書き方の基本/講義 (川口・久保田)
第3回	相手にとってわかりやすい説明とは:クイズ文の構造/講義 (川口・久保田)
第4回	第2回授業で書いた文章の自己添削と書き直し/演習 (川口・久保田)
第5回	文章の読み方の基礎/講義 (川口・久保田)
第6～8回	読解能力と表現能力の獲得・課題学習/少人数での演習 (川口・久保田)
* 第2～8回の講義はクラス1と2に分かれて行う。講義内容は基本的に同じだが, 講義内で扱う基礎的内容と発展的内容の比重に違いがある。	
* 第6～8回のうち1回を少人数での演習とし, その他の時間は課題学習とする。	
第9回	第9～15回の講義のイントロダクション:クリティカルシンキングとは (駒崎) 伝達, 伝聞, 推量の違いを体験する/講義・演習
第10回	バイアスを自覚する/講義・演習 (駒崎)
第11回	接続関係 (駒崎) 解説, 根拠, 付加, 転換, 接続構造の分析/講義・演習
第12回	論証 (駒崎) 演繹と推測, 仮説形成, 価値評価/講義・演習
第13回	演繹 (駒崎) 否定, 条件構造, 推論/講義・演習
第14回	議論を作る (駒崎) 異論と批判/講義・演習
第15回	根拠を確かめる/講義・演習 (駒崎)